

都市再生整備計画(第5回変更)

したますみちく
下益見地区

ぎふけん みずなみし
岐阜県 瑞浪市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	瑞浪市	地区名	下益見地区	面積	27.6 ha
計画期間	平成18年度～平成22年度	交付期間	平成18年度～平成22年度				

目標
大目標:旧市街地の活性化と新しい活力ある産業園づくりを目指し、魅力ある交流拠点の整備と災害に強いまちづくりの創造
目標:市民の生活の拠点、商業施設を利用した活力ある賑わいのまちづくり
目標:住居ゾーン・商業ゾーンの整備による人口増加計画
目標:市民生活の安全で潤いのある環境の整備

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 当地域は、名古屋市から約40km圏内に位置し、JR東海中央線瑞浪駅から徒歩で約10分の位置にあり、国道19号線に隣接するなど立地条件も良く名古屋市の通勤圏として急速な発展をしつつある。また、当該地域は中心市街地に位置し交通の利便性の恵まれた地域であるため、公立高校と私立高校の2校が隣接している。そして古い歴史のある地域で、酒造所がこのエリアに2箇所存在している。 昭和47年2月25日に区画整理事業の都市計画決定が行われ、32.2haを昭和47年から昭和54年に事業を行い完了しており、残る19.3haの整備を行うと当地域の区画整理がすべて終了することになる。なお、この事業地域内に都市計画道路中原・益見線があり、隣接する国道19号線と接続することになり、中心市街地の東西にアクセスする重要な道路が完成する。 土地の現況は、道路が狭く緊急車両が進入できない状況にある。また、過去25年の間に水害による災害が10回ほどあり、それらを考慮して早急に整備が必要な地域である。また、ほとんどが農地として残っており、優良な宅地を作り出し新しいまちづくりの創造を行うことが必要である。
課題 ・地域内の主要道路は市道一色・益見線(平均幅員3.5m)と宅地への進入路(約2m)の地域であり、早急に道路等の整備が必要である。 ・当該区画整理事業地内のほぼ中央に都市計画道路があり、完成することにより瑞浪市の都市計画道路のすべてが完了することになり整備を望まれている。 ・当地域は、土岐川(庄内川水系)に隣接し過去に水害に被災した経緯から、その調整池の整備を早急に進めることが必要である。 ・観光資源に酒造所があり、訪れる観光客もある。しかしながら周辺の市街地が整備されていないため、このまちにふさわしいまちの整備が必要である。そのため優良宅地の増進を図り、人口の増加も含め市民が集う活力のあるまちづくりを進めることが大きな課題となっている。
将来ビジョン(中長期) 新しい街の拠点として、このまちにふさわしい交通・居住・商業・文化・交流の充実を図る。 下益見土地区画整理事業の工事が平成18年度から開始される。初めに整備が開始されるのは大型店舗の用地となるエリアから工事を進め、約2年で大型店舗のオープンをさせる計画である。その後、居住ゾーンとなるエリアの工事を進めて行く計画である。それら整備から商業機能の集積を図り、商業拠点として魅力ある産業基盤のづくりと都市機能の充実により、魅力あるまちづくりの創出を目指すものである。 一方、ソフト面のまちづくりとしては、18年度と19年度に当地区まちづくり委員会によるまちづくりのための講演会や勉強会を計画し文化の香りのするまちづくりを行うものである。 以上のように市民が集う活力のあるまちづくりを目指し、交通・居住・商業・文化・交流の充実を図り、また、歴史のある市街地を守るため水害に強い安全で安心な都市環境を目指すものである。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目 標 値	
							目標年度
1. 定住人口	人	当地区に定住する人口	現在、旧市街地は住宅用地が無く、人口増加を図ることは困難な状況にあり、住居ゾーンの整備により賑わいのあるまちづくりを行う。	620	平成16年度	1,310	平成22年度
2. 交通量	台／日	道路施設の整備に伴う交通量	当地域の主な道路の幅員は、3.5mと狭く、道路の本数も少ないため交通事故等危険な地域であり、道路整備により快適な交通環境の整備を進め快適なまちづく	130	平成16年度	8,000	平成22年度
3. 避難地までの到達時間	分	避難時間の短縮による住民の災害環境の改善	過去に約10回の水害に被災した経緯があり、新たな避難地の確保により避難時間の短縮を行い安全で安心なまちづくりを進める。	10	平成16年度	4	平成22年度
4. 就労人口	人	当地区に就労する人口	現在、下益見地区の就労状況は、各事業所につき4人以下と少ない状態にあり、大型店舗出店により雇用を生み就労人口を増やし、商業拠点として魅力ある産業	190	平成19年度	440	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・整備方針1(市民の生活の拠点、商業施設を利用した活力ある賑わいのまちづくり) 当地区の都市計画道路中原益見線の南側を大型店舗施設や共同店舗を誘致し、活力のあるまちづくりの整備を行う。	土地区画整理事業(基幹事業)
・整備方針2(住居ゾーン・商業ゾーンの災害に強い社会基盤整備による人口増加計画) 当地域の都市計画道路中原益見線の北側旧市街地は約23%。その他約77%は農地等であり、住宅地や災害の際は避難地となる公園を整備し、市民の交流と憩いの空間を創設する魅力あるまちづくりを行う。	公園(基幹事業)、地域創造支援事業(提案事業)、道路(基幹事業)
・整備方針3(市民生活の安全で潤いのある環境の整備) 当地域は、過去に10回ほど水害に被災した経緯があり、調整池の施工と防災無線マスト及び耐震性貯水槽・消火栓(提案事業)の新設により災害に強いまちづくりを目指す。 唯一、従前からある道路(旧市街地内)をカラー舗装化し、歩行者が安全で快適に歩行できる、まちづくり整備を行う。	地域生活基盤施設(基幹事業)、高質空間形成施設(基幹事業) 地域創造支援事業(提案事業)
その他 ○下益見土地区画整理事業終了後のまちづくりソフト事業の活動 魅力あるまちづくりとは、「住む」、「働く」、「遊ぶ」、「学ぶ」ことができる機能が備わっていることが必要と考えられる。当地区は、区画整理事業が完了した後にソフト事業である「まちづくり委員会」を立ち上げ、地域住民を中心に活動を開始する計画しており、地区内には日本酒の酒造所が2箇所ある等、歴史のある地域と公立・私立の高校が2校あることから、これらアイデアを活かしたまちづくりが期待できるものである。 ・旧市街地の街並みとその沿道を活かしたまちづくり ・旧市街地内の酒造所を活かしたまちづくり ・当地区内にある高校等を利用した生涯学習のまちづくり ・旧村名猿子村の「イベント猿子祭り」を活用したまちづくり	

交付対象事業費	585	交付限度額	235	国費率	0.401
---------	-----	-------	-----	-----	-------

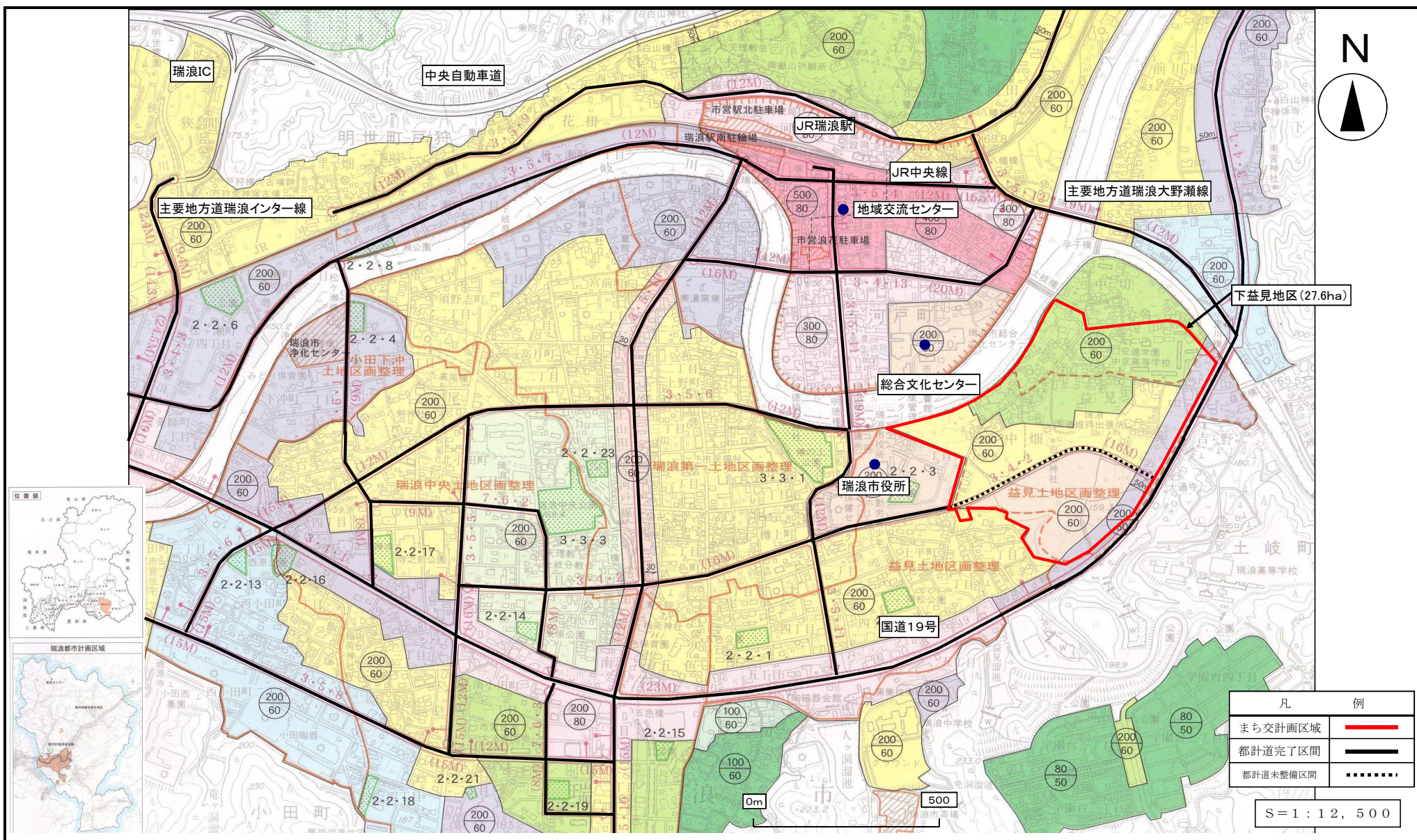
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		市道中原・益見線	瑞浪市	直	52m	18	18	18	18	18.9	18.9	18.9		18.9
道路		市道下益見3号線	瑞浪市	直	440m	22	22	22	22	30.0	30.0	30.0		30.0
公園		下益見地区第1公園	瑞浪市	直	824㎡	21	21	21	21	10.0	10.0	10.0		10.0
		下益見地区第2公園	瑞浪市	直	1,135㎡	21	21	21	21	10.0	10.0	10.0		10.0
		下益見地区第3公園	瑞浪市	直	3,925㎡	22	22	22	22	10.0	10.0	10.0		10.0
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	瑞浪市	直		19	22	19	22	6.2	6.2	6.2		6.2
高質空間形成施設		—	瑞浪市	直	630㎡	20	20	20	20	10.0	10.0	10.0		10.0
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		下益見地区	下益見土地区画整理組合	間	19.3ha	10	23	18	22	380.0	380.0	380.0		380.0
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										475	475	475	0	475

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	水道整備	下益見地区	瑞浪市	直	4,627m	17	22	18	22	106.0	106.0	106.0		106
	遺跡発掘調査	下益見地区	瑞浪市	直		19	20	19	20	1.1	1.1	1.1		1.1
事業活用調 査	事業効果分析調査	下益見地区	瑞浪市	直	—	21	22	21	22	3.0	3.0	3.0		3
		—			—									
まちづくり活 動推進事業	まちづくり講演会	土岐町	瑞浪市	直	100名	18								

[illegible]

都市再生整備計画の区域

^{したますみちく(ぎふけんみずなみし)} 下益見地区(岐阜県瑞浪市)	面積	27.6 ha	区域	土岐町字小樽、畑廻、入尾、外沼、中畑の全部。河原、茶屋、田畑、内沼、大外内、開初、上丁田、五百代、森本、中屋、佃、中切、加毛田の各一部。)
---	----	---------	----	---



下益見地区(岐阜県瑞浪市) 整備方針概要図

目標	旧市街地の資源と新しい交流拠点を活用した賑わいと災害に強いまちづくりの創造	代表的な指標	定住人口	(人)	620	(16年度)	→	1,310	(22年度)
			交通量	(台/年)	130	(16年度)	→	8,000	(22年度)
			避難地までの到達時間	(分)	10	(16年度)	→	4	(22年度)
			就労人口	(人)	190	(19年度)	→	440	(22年度)

